



7月16・17日 革新・愛知の会拡大世話人会

革新・愛知の会 拡大世話人会

7月16日、17日、蒲郡で革新・愛知の会拡大世話人会を開催しました。第一日は、田辺準也代表世話人からの挨拶で開会。この間の取り組みの前進のなかで、3000万署名達成へ、来年の参議院選挙を展望し大いに論議を呼びかけられました。全国市民アクションの高田健さんの「安倍政権退陣！市民と野党の共闘の発展で」と日本共産党愛知県委員会石山淳一書記長の「愛知における市民と野党の共闘と革新運動について」講演がおこなわれ、休憩をはさんで村上事務室長から世話人会への提案が行われ討論。夜は夕食懇親会。第二日もひきつづき討論が行われました。

安倍政権退陣へ！——「市民と野党の共闘」の前進、3000万署名達成へ！ 来年の参議院選挙を展望して

地域・職場から 安倍改憲NO！の声を草の根から

安倍政権退陣！市民と野党の共闘の発展で——高田健さん講演



高田健さん

北東アジアの平和に歴史的变化をつくった南北会談と米朝会談、今後もジグザグはあれ、歴史は進む。北東アジア非核地帯の構想に向けての動きのなか、安倍9条改憲の根拠が崩れた。モリ・カケ疑惑に象徴される安倍政権による国家の私物化を許さず安倍退陣へと市民の立ち上がり広がる。



石山淳一さん

秋に向けて3000万署名運動を軸に与党を揺さぶり、野党を結束させ国会審議の動向に決定的影響を与える数千万の対話運動で世論をかえよう。安倍政権は通常国会で自民党改憲案を提出できず、次の焦点は秋の臨時国会になる。さらなる戸別訪問と対話を3000万人達成にすすもう。国会内外の共同を更に広げ魅力ある「野党共同」と「市民連合らしい市民連合」を。改憲発議が出ない状況をつくりだそう。

愛知における市民と他党の共闘の実現へ——日本共産党石山書記長

選挙における市民と野党の共闘がどうできあがったのか、共産党の候補者見送りと各候補、各党に向けて働きかけ、その中の連合の壁、突然に希望の党への民進党の合流という共闘破壊の突然の逆流に、立憲民主の結党にさいしても、党の候補者を下ろして立憲民主を文字通り後押しした。この共同のたまたかいの道をひらいたのは市民の皆さん。

今後の運動の方向に向けて

二人の講演・質疑討論を通じて今後の運動の方向（文責・村上俊雄事務室長）



村上俊雄さん

(1) 安倍改憲（発議）を阻止する

安倍首相は、通常国会（予算案を議決後）で改憲発議をめざしていた。しかし、自らの、権力の私物化（モリ・カケ・日報など）への世論・メディア・野党の批判に防戦に追われ、1カ月の国会延長するも、改憲発議を行うことはできなかつた。憲法審査会も国民投票法（CMの見直し）で野党を審議に引き入れようとしたが失敗。安倍首相は総裁選で改憲を争点にしようにと執念を持ち続けているが……。

(2) 3000万署名を引き続き推進する

秋の臨時国会での改憲発議を止めさせれば、来年の選挙・天皇代替わりで安倍改憲は困難になる。このため、3000万署名が大切となる。何ができて何がまだやれていないかを論議、改めて署名運動が大切になっている。署名を取る時、相手の置かれている状況、関心要求に基づいた対話をひろげることが求められる。安倍政治に痛めつけられている人々と共に展望を持ちたい。

(3) 市民と野党の共闘——これまでにない新しい展開を！

来年の統一地方選、参議院選挙では、これまでになかった統一が課題となっている。野党共闘のためにいま求められていることは①市民連合・市民アクションの活動②共闘を可能とする政策の練り上げ・共有③政治から

国民運動で新たな共闘の可能性が開かれた。愛知における「本気の共闘」を実現していく上で共産党の躍進、政策的意見交換、協議の場をつくる、総選挙を展望して小選挙区レベルの野党共闘組織づくりをすすめる。市民と野党の共闘の発展に革新運動の果たした役割と統一戦線の促進を目標とする地域革新懇の確立、強化が求められている。

各地の活動の経験——発言から

拡大世話人会の提起をうけ、地域職場革新懇、賛同団体などから提案を深める積極的な討論がおこなわれました。

- * * * * * ①緑区での市民と野党の共闘の発展をどうすすめるのか。平民懇の総会には議員秘書に来てもらい人間的関係や結びつきと読めることが大事（緑平民懇）。②地域で7つ

の市民アクションを結成してとりくんでいる一宮は、一宮市民アクションの動きが10区の市民連合につながった。2000筆を超えた浅井地域ではその地域の著名人の名前をいれて宣伝、また西成地域でも同様に7人の名前を出し350筆が集まった（二宮革新懇）。③愛知4区は17年総選挙で4つの革新懇が協力し市民に呼びかけて初めて革新懇として選挙をたたかった。革新懇についての理解が十分にされていない、統一戦線を促進する革新懇についてもっと議論をする場が必要（南区革新の会）。④「魅力ある野党共闘を」との指摘をどうすすめるのか。要求と政治革新、共同保育所をつくり認可園へ、私学助成、老人医療無料化などの時代のことを振り返り、あらためて革新運動で共感を広げる、地域でつなげ政治革新の土台をつ

(4) 9条に基づく平和構築へ

朝鮮半島非核化・核兵器禁止条約批准の動きが生まれている。安倍首相の戦争法・改憲路線は世界の流れに逆行している。相手の国を攻撃する兵器をアメリカから買入れていることを止めさせる。ミサイルを「撃ち落とす」イージス・アショアを設置させない。軍事費の削減をめざす（イージス・アショア1基で18万人の大学生に月4万円4年間の給付型奨学金が可能となる）。オキナワ辺野古新基地建設は時代の流れに逆行。9条に基づく軍事によら

ない外交へ、平和構築に積極的に乗り出す方向を運動として高める。11月の沖縄県知事選挙への募金、支援をおこなう。

(5) 革新運動の方向・統一戦線づくり

事務室体制を整備する（事務室長・専任化、無党派・他党派の参加を求め）。地域・職場の課題（具体的なことで多くの人々の共感を得られるテーマ）を取り上げる。《10・30講演と文化の夕べ——前川喜平講演》の成功をめざす。①安倍政治による国家の私物化と一貫して闘う前川喜平さんに学ぶ②前川喜平さんと共に不正を許さない運動に加わる人を増やす③革新運動を知ってもらう（1300人にチケットを普及する）。

1日目は59名が参加。うち、高田健さん講演のみ参加は13名。23地域職場青年革新懇が参加。